

企業名： 菱電商事

---

レポート名： 菱電レポート 2021

---

## 1. この会社が目指す姿が理解できるか

2050年に向けて目指す姿は、「100年企業として、環境・安心・安全でサステナブルな社会の実現に貢献する会社」であることが理解できた。これに向けた取り組みの一環として、新事業としてスマートアグリ、ヘルスケアの設置をしている。ちなみにスマートアグリ事業とは、食料自給率や気候変動、後継者不足など、様々な社会的課題の解決につながるビジネスである。また、2020年に「グループ環境ビジョン」を制定し、2030年までに電力しようによる温室効果ガス排出をゼロにするなどの課題に取り組んでいる。加えて、カーボンニュートラルにも挑戦中である。今後は特に「ヘルスケア」「次世代モビリティ」「ビルマネジメント・ファシリティ」「産業冷熱・環境 EMS」「生産設備」の五つの分野に注力していく方針だ。更にこの会社はSDGsも重要視しており、中でも特に注力すべき七つのゴールを選定し、推進している。選定された七つのゴールは、「飢餓をゼロに」「全ての人に健康と福祉を」「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」「働きがいも経済成長も」「産業と技術革新の基盤をつくろう」「住み続けられるまちづくりを」「気候変動に具体的な対策を」である。また、この会社は様々な事業経験で培った技術力を農業分野にも応用し、人工光を利用した植物工場の開発・施工・運用で業界をリードしているという。

レポートには、当社が掲げる環境・安心・安全それぞれについてのソリューションも示されている。環境ソリューションは、ネット・ゼロ・エネルギー・ビル（ZEB）の実現をサポートすることと、オフィスや生産工場の省エネをトータルで支援すること。安心ソリューションはカメラとITを組み合わせたネットワークビジュアルソリューション、VMS（Video Management System）と、ユビキタス社会の実現、高度情報サービスのツールとして期待される自動認識技術、RFID（Radio Frequency Identifier）で、安心・安全な社会づくりに貢献することである。安全ソリューションは、自動運転の活用である。

これらの具体的な取り組みから、この会社の目指す姿がよりはっきりと理解できたのでよかったと思う。

## 2. この会社の競争優位性が理解できるか

この会社の強みは理解できたが、同業他社との比較がなく、業界の中でのこの会社の相対的な優位性がわかりづらいと思う。この会社の強みは三つあり、技術力・グローバルネットワーク・幅広い事業領域であると理解できる。技術力については、顧客にベストなソリューションやシステムを提案できるよう、サプライヤー及び顧客との連携を従来以上に強化し、技術情報の蓄積と分析に注力しているという。また、専門の技術部隊を設置するなどして、国

内外における業界の変化にも即応可能な体制を構築しているという。具体例として次世代自動車への対応や、産学協同研究があげられている。これについて私は、やや文章が抽象的で、他社との比較や具体的な数値がないため、技術力が同業他社と比べて強いかわからないと思った。次に、グローバルネットワークについては、海外拠点について地図を用いてわかりやすく示されており、地域に応じて事業の内容を工夫していることがわかった。しかし、各拠点同士の連携についての説明が足りないと感じた。最後に幅広い事業領域について、この会社は、核となる FA システム・冷熱システム・ビルシステム・エレクトロニクスの四つのビジネスと、それらに ICT 技術を融合したマネジメントプラットフォーム、さらに新たに特定分野向けの事業を、スマートアグリとヘルスケアの二つ、展開している。これらについては、一つ一つに詳細な説明がなされており、わかりやすかった。また、この会社は DX という言葉がまだ一般的ではなかった 2018 年に「ICT ソリューション事業本部」を設置しており、その時から基本の四つのビジネスにデジタル技術や通信。ビッグデータ、IoTなどを組み合わせて新たな価値を提供していこうという、まさに DX と言える取り組みを行ってきたことは大きなアドバンテージになっており、今の新事業に生かされているという。

### 3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

DX を推進し、時代の変化に対応していくことで競争優位性を持続させるという姿勢が理解できた。当社は DX の推進に関連して三つの戦略を掲げており、それは「成長事業のビジネスモデル確立と次世代新規ビジネスの創出」、「基幹中核企業の生産性向上」「事業推進基盤の強化」である。このことについて私は、DX の推進や環境問題・社会的課題へのアプローチには十分言及されているのは良いが、強みとして提示した、技術力・グローバルネットワークを持続させるための取り組みにも、もっと言及しても良いのではないかと考えた。

### 4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

働き方改革への取り組みや、福利厚生が充実していることはレポートから読み取れたが、人的資本の価値向上を達成できるかどうか判断できなかった。人材開発・教育についての言及はあるが、抽象的でわかりにくく、具体的にどのようなスキルが身に付くと期待できるのか知りたいと感じた。

### 5. 報告書にはどのような改善余地があるか

この会社の強みとして挙げられている技術力について、具体的な数値や同業他社との比較を用いてより具体的に示せるといいと思った。また、グローバルネットワークについても、各拠点単体の事業の説明だけでなく、連携して行なっている事業についてもっと言及するといいと思った。競争優位性の持続性については、強みとして提示している技術力とグローバルネットワークの持続性についても示すといいと思った。この会社で人的資本の価値向

上を達成できるか、ということがわかりにくかったので、より具体的に身に付くスキルがイメージできるような記述をするべきだと思った。